

問い合わせ先
 土木部公共工事契約課
 公共工事契約管理係
 0742-27-7425

平成24年度 第1回 奈良県入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成24年7月17日(火) 県庁第1会議室	
委員	委員長 池田 辰夫 委員長代理 福井 英之 藤平 真紀子 槇村 久子 三浦 晴彦	
審議対象期間	平成23年12月 1日～平成24年3月31日	
抽出案件	6 件	(備考)
一般競争入札	6 件	○審議対象期間中の総契約件数、入札参加停止措置状況、入札契約制度の適正化に係る取組状況並びに談合情報の対応について説明
指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	次 頁 参 照	
委員会による意見具申又は勧告の内容	<p>○抽出案件については、格別の不正を疑わせる内容もなく妥当と考える。</p> <p>○入札辞退者が発生し、結果として一者入札などの入札参加者が少ない案件については、入札の透明性・適正性に限界がある。引き続き、入札の競争性確保について検討を進めていただきたい。</p> <p>○入札制度改正に当たっては、優良建設業者の育成や不良不適格業者の排除を促進するとともに、より健全な競争環境整備と、より適正な品質が確保される制度を構築するよう今後とも努めること。</p>	

質 問	回 答
案件1(大宇陀ポンプ場他ポンプ等更新(電気設備)工事)	
○更新ということだが以前の業者と同じか？	●以前は2つの工事を発注。今回一括発注のため、大宇陀ポンプ場は以前と同じ業者だが、菟田野ポンプ場は以前とは別業者となった。
○条件設定(経審点900点以上等)は妥当か？	●条件を満たす業者については30者程度を予想していた。
○前回は2箇所別発注のものを、今回は同時発注ということだが、同時発注の理由は。安くなるということか？	●積算でいうと、工事を大きくしたほうが経費が下がる。今回2箇所の工事は距離的に近く、更新期間が同じということで同時発注した。
○同時発注の効果の程は？	●発注段階の設計金額は、同時発注のほうが安くなっていた。落札した結果については判断できない。
案件2(国道169号地域自主戦略交付金事業(国道橋りょう補修)工事)	
○辞退者が多いのは見積り金額が大きい(予定価格に比べ業者の積算価格が大きく、金額が合わなかったため)ということだが、予定価格はそもそも低い水準だったということか？	●シビアな設定で出したと考えている。
案件3(灯火式可変標識等設備工事)	
○一者が無効となった理由は？	●投函入札で、入札日が記載されていなかったため。
案件4(桜井浄水場計装設備修繕工事)	
○設備の取り換え工事で一者入札ということだが、以前の業者と同じか？	●以前は1の無停電装置は(株)ユアサコーポレーション、2の粒子カウンタは横河電機(株)、3の通信設備電源ユニットは沖電気工業(株)。
○それぞれの修繕工事の内容の詳細説明をお願いします。落札率が高い。	●1の無停電装置は全面取り換え。2の粒子カウンタは機器の修繕。3の通信設備電源ユニットは一部の部品の取り換え。全体の施工は横河電機(株)。落札率が高いのは、技術者の確保等の関係から一者となり、予定価格を公表しているためその価格に近い金額で応じたからと思われる。
案件5(御所浄水場2系脱水機設備更新工事)	
○一者入札だが、以前の業者と同じか？	●業者は以前と同じ。
案件6(県庁舎設備耐震改修)	